

事業番号	040
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	平成夏まつり支援事業						担当部	市民産業部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	生活交流課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	交流係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		2 交流		1 住民相互のつながりを深める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	7		目	2		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	20 %			委託	0 %			助成	80 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	平成夏まつりは、平成元年から友好都市の八雲町の山車行列を参考に始められた。参加者だけでなく、観客も楽しむことができるように、すばらしい山車やパフォーマンスを披露することにより、市民活力の向上とするだけでなく、中心市街地活性化にも貢献する。														
	内容 (手段)	<p>企画運営は、より市民ニーズに近いイベントとするため、参加団体や市民団体によって構成される実行委員会が主体となって行い、市は補助金の交付などの支援を行っている。</p> <p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧の中心街を行灯山車(ねぶた山車)とパフォーマンス(ハネト踊りやよさこい)や太鼓などでの行列の実施 ・24年度は、参加者と観客が一体となってまつりを楽しむことができるよう検討をしている。 ・一般公募を含む審査員やインターネット投票による、優秀な山車・パフォーマンスの審査 ・手筒花火を中心とした打ち上げ花火と和太鼓の競演によるフィナーレの実施 <p>職員の事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加する団体の組織で構成する実行委員会の補助 ・事務局として各機関との調整・準備・進行等 <p>※参加する団体は、実行委員会に参加費を負担</p> <p>(H23の直接経費の内訳)</p> <p>電気料金 78千円 水道料金 7千円 山車倉庫借上料 417千円 山車倉庫設備保守管理委託料 21千円 H23平成夏まつり補助金 17,000千円 (主な経費) H24平成夏まつり補助金 18,000千円</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	22,612	21,351	17,525	18,632	
		正職員	従事者数	人	0.85	0.85	0.85	0.85
			人件費	千円	4,521	4,521	4,521	4,521
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	27,133	25,872	22,046	23,153	
	対前年比	%		95.3	85.2	105.0		
財源	一般財源	千円	27,133	25,872	22,046	23,153		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	参加団体数	団体	目標	23	23	23	23
			実績	18	22	21	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H21	H22	H23	H24
	来場者数	団体	目標	75,000	75,000	75,000	75,000
			実績	27,000	77,000	83,000	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	広報や各種雑誌等のメディアを利用し、幅広い年齢層をターゲットにしたPR方法により、平成17年度以来となる来場者数8万人を突破した。参加団体については、昨今の景気状況により伸び悩む形となった。	
		事業実施における課題等	近年、来場者数は増加傾向で、平成夏まつりに対する期待も大きくなっているように思われる。平成夏まつりをより盛り上げるためにも、参加団体数の目標値を達成できるように積極的に呼びかけていきたい。また、来場者との一体感を創出するため実行委員会で実施内容を検討している。	
		事業を縮小・廃止したときの影響	平成夏まつりは、平成元年から友好都市である八雲町の山車行列を参考に始められ、友好関係象徴の一つである。参加団体数21団体・来場者数8万人を超える市内最大級のイベントとなっている。市民の楽しみ・憩いの場であると同時に地域間コミュニケーションにも大きな役割を果たしている。以上より、事業を縮小・廃止したときの影響は大きいと考える。	
	今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持	
		判定理由	平成23年度の実施結果でも記載したとおり、市内最大級のイベントであり市民活動にも大きく影響している。平成24年度においては来場者との一体感創出を実現するため、より市民参加型のイベントになる。実現すれば今まで以上に平成夏まつりが盛り上がり、小牧市の活性化につながる。	
		改善案等	来場者との一体感創出のために、市民参加型の企画を実行委員会として検討していく。具体的な案としては、平成夏まつりに参加していることを実感してもらうため来場者も実際に参加できるハネト総踊りを実施し、インターネット投票での審査を行う。また、引き続きセタとの連携を図る。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。平成23年度外部評価を受けた改善が進められており現状維持とする。